

# 《開幕》

## 六本木ヒルズ・森美術館15周年記念展

# カタストロフと美術のちから展

2018年10月6日(土)ー2019年1月20日(日) 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)

### 先行き不透明な混沌とした時代に、アートだからできること

森美術館は、2018年10月6日(土) から2019年1月20日(日) まで、六本木ヒルズ・森美術館15周年を記念して、「カタストロフと美術のちから展」を開催します。

東日本大震災やアメリカ同時多発テロ、リーマンショックなど世界各地で絶えず発生するカタストロフ(大惨事)。多くのアーティストがこのような悲劇的な災禍を主題に、惨事を世に知らせ、後世に語り継ごうと作品を制作しています。その私的な視点による記録は、マスメディアの客観性を重んじる記録とは異なり、多勢の世論の影に隠れて見えにくくなったもう1つの事実を私たちに提示します。そこにはまた、社会の矛盾や隠蔽された問題の可視化を意図するものや、個人的な喪失や悼みを表現するものもあります。

カタストロフは私たちが絶望に追い込みますが、そこから再起しようとする力は想像力を刺激し、創造の契機となることもまた、事実なのではないでしょうか。東日本大震災以降、国内外の数多くのアーティストが復興・再生への願いを込めて理想や希望を描き、より良い社会のために新しいヴィジョンを提示しようと試みています。

戦争やテロ、難民問題や環境破壊など、危機的な問題が山積する今日において、美術が社会を襲う大惨事や個人的な悲劇とどのように向き合い、私たちが再生を遂げるためにどのような役割を果たすことができるのか。本展は、負を正に転ずる力学としての「美術のちから」について注目し、その可能性を問いかけます。



オノ・ヨーコ  
《色を加えるペインティング(難民船)》  
1960 / 2016年  
ミクスト・メディア・インスタレーション  
サイズ可変  
展示風景:「オノ・ヨーコ:インスタレーション・アンド・パフォーマンス」マケドニア現代美術館  
(ギリシャ、テッサロニキ)2016年

### プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## 出展アーティスト・プロジェクト ※アーティスト・プロジェクト名/姓のアルファベット順

シヴァ・アフマディ	平川恒太	オノ・ヨーコ
アイ・ウェイウェイ (艾未未)	トーマス・ヒルシュホーン	ジョルジュ・ルース
ミロスワフ・パウカ	堀尾貞治	カテジナ・シェダー
坂 茂	ハレド・ホウラニ	ヴォルフガング・シュテーレ
ミリアム・カーン	ホアン・ハイシン (黄海欣)	ヘルムット・スタラーツ
CATPC&レンゾ・マルテンス	HYOGO AID '95 by ART*	スウーン
シェバ・チャッチ	池田 学	高橋雅子 (ARTS for HOPE)
Chim ↑ Pom	アイザック・ジュリアン	武田慎平
トーマス・デマンド	ヒワ・K	田中功起
クリストフ・ドレーガー	加藤 翼	ジリアン・ウェアリング
藤井 光	オリバー・ラリック	米田知子
フェリックス・ゴンザレス=トレス	エヴァ&フランコ・マッテス	ムハマッド・ウチュブ・ユスフ
畠山直哉	宮島達男	
モナ・ハトゥム	宮本隆司	

\*「HYOGO AID '95 by ART」参加作家 (姓のアルファベット順)

赤瀬川原平、巖嘸、堂本尚郎、細江英公、今井俊満、加納光於、菊畑茂久馬、草間彌生、李禹煥、前田常作、森山大道、元永定正、中西夏之、奈良原一高、野田哲也、岡本信治郎、篠原有司男、白髪一雄、高松次郎、東松照明、山田正亮、横尾忠則、吉原英雄

## 開催概要

**展覧会名:**カタストロフと美術のちから展

**主催:**森美術館

**助成:**アダム・ミツケヴィッチ・インスティテュート / culture.pl、

在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、

オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム、ブリティッシュ・カウンシル、

ゲーテ・インスティテュート 東京ドイツ文化センター、台湾文化部、

モンドリアン財団、公益財団法人野村財団、スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団、

グレートブリテン・ササカワ財団

**協賛:**株式会社大林組、トヨタ自動車株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、

アスクル株式会社、ヤマトホールディングス株式会社、株式会社四電工

**協力:**全日本空輸株式会社、日本貨物航空株式会社、シャンパーニュ ポメリー

**企画:**近藤健一 (森美術館キュレーター)

**会期:**2018年10月6日(土)ー2019年1月20日(日)

**会場:**森美術館(東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階)

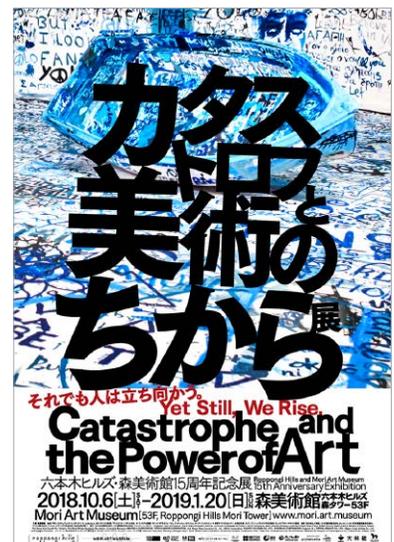
**開館時間:**10:00-22:00 | 火 10:00-17:00 \*2019年1月1日(火・祝)は22:00まで

\*いずれも入館は閉館時間の30分前まで \*会期中無休

**入館料:**一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、子供(4歳ー中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円 \*表示料金に消費税込

\*本展のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可(スカイデッキを除く) \*スカイデッキへは別途料金がかかります

**一般のお問い合わせ:** Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)



**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## 本展の特徴

### ■ 開館15周年に、あらためて問う「美術のちから」

森美術館はこれまで、周年の記念展において、全人類にとって普遍的なテーマを掲げてきました。2003年の開館記念展では「幸福」をテーマにした「ハピネス」展を、10周年を迎えた2013年には「愛」に注目した「LOVE展」を開催しています。15周年を迎える2018年、敢えて「カタストロフ(大惨事)」をテーマに取り上げ、さまざまな問題が山積する今日の国際社会において、美術が果たす役割についてあらためて問い直します。

### ■ 美術を通して社会と繋がり、変革を目指す作品を紹介

現代美術の1つの特徴に、「社会をより良くする可能性」があります。なかでも、アーティストが社会に介入し、彼らの作品や活動を通して社会に変革をもたらすことを目指す「ソーシャリー・エンゲイジド・アート(SEA)」は、近年日本でも注目を集めています。本展では、オノ・ヨーコや宮島達男による鑑賞者参加型の作品や、社会的メッセージが込められた美術作品の良作を多数紹介し、美術と社会との繋がりについて考察します。

### ■ 東日本大震災を「風化させない」 震災の記憶を伝える作品を多数紹介

2011年に発生した東日本大震災は、日本社会を大きく変えてしまっただけでなく、日本の現代美術界にも大きな影響を与えました。震災から7年が経過した今日、いまだ復興が思うように進んでいない地域もあり、一方で、私たちの震災体験や記憶は風化しつつある現状があります。本展では、この震災を契機に制作されたChim ↑ Pom、トーマス・デマンド、池田学など約10作家の作品を紹介することで人々の記憶を蘇らせ、議論を再燃させることを目指します。

### ■ 現代美術のスーパースターから注目の若手作家、日本初公開の作家まで 40組の作品を展示

現代美術界で最も権威ある祭典、ベネチア・ビエンナーレやドクメンタに参加経験を持つトーマス・ヒルシュホーン、モナ・ハトゥム、アイザック・ジュリアン、畠山直哉、宮本隆司といったベテラン作家から、ストリート・アート界のスターであるスウーン、加藤翼や平川恒太など気鋭の若手まで、国内外を問わず幅広い層の作家が参加。さらには、ヒワ・Kやヘルムット・スタラーツなど、日本初公開となる作家も紹介します。

### ■ 展覧会に先行して「プレ・ディスカッション・シリーズ」を展開

惨事と現代美術の関係を考察するには、実際の事例や経験、言説を含めて考えることが不可欠であると考え、展覧会開催前に「プレ・ディスカッション・シリーズ」と題したトーク・イベントを5回にわたり実施。それぞれ「大惨事におけるアートの可能性」、「写真や映像で惨事を表現すること：記録、芸術性、モラル」、「阪神・淡路大震災から20余年：体験とその継承」、「フクシマ2011-2018」、「アートかアクティヴィズムか?」をテーマに議論がおこなわれました。外部の有識者、専門家、当事者、アーティストなどを招聘しておこなわれたこれらの議論は、展覧会の一部として会場で紹介されるだけでなく、図録にも掲載されます。また、会期中の12月15日には、国際シンポジウムの開催も予定しています。

※これまでのイベントのレポートはこちらからご覧ください。 <https://www.mori.art.museum/jp/news/keyword/cat82/index.html>

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## セクション解説&主な作品

### セクションI：美術は惨事をどのように描くのかー記録、再現、想像

セクションIでは、地震、津波などの天災や事故や戦争といった人災から、個人的な悲劇を表現した作品まで幅広く紹介しながら、「美術が惨事をどのように描いてきたのか」に焦点を当てます。惨事を扱った作品と一言で言ってもその手法はさまざま、写実、フィクション、極端な抽象化など多岐に渡ります。また、2008年の世界金融危機を引き起こした現代のグローバル化したバーチャルな資本や、福島の原子力発電所事故などに見られる放射能汚染など、目に見えない脅威を可視化する作品も含まれます。惨事を美やユーモアを混じえて表現することができる美術の特性に触れながら、作家が惨状や恐怖をどのように記録・再現し、他者と共有して未来に語り継ごうとしているのかについて考察します。



アイザック・ジュリアン  
《プレイタイム》2013年  
3チャンネル・ハイビジョン・ビデオ・インスタレーション、5.1サラウンドサウンド 64分12秒  
Courtesy: Victoria Miro, London



武田慎平  
《痕#7二本松城》2012年  
ゼラチン・シルバー・プリント 50.8×60 cm  
アマナコレクション(東京)



トーマス・ヒルシュホーン  
《Abschlag》2014年  
ミクスト・メディア・スカルプチャー サイズ可変  
展示風景:「マニフェスタ10」エルミターージュ美術館、一般職員棟(サンクトペテルブルグ)  
2014年  
Courtesy: Manifesta Foundation, Amsterdam ※参考図版



ジリアン・ウェアリング  
《自分の人生つかみきれない!》《絶望的》  
「誰かがあなたに言わせたがっていることじゃなくて、あなたが彼らに言わせたみたい  
ことのサイン」シリーズより 1992-1993年  
Cプリント、アルミニウム板 各44.5×29.7 cm  
Courtesy: Maureen Paley, London

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## セクションⅡ：破壊からの創造—美術のちから

セクションⅡでは、破壊から創造を生み出す「美術のちから」を紹介します。大惨事や悲劇は私たちを絶望へと突き落としますが、その一方で惨状が作家の作品制作の契機となることも事実でしょう。アーティストの豊かなイメージーションによって制作された、再生、復興、より良い社会が表現された作品は、私たちに理想の未来について考える想像力を与えます。

美術は、医学と異なり大惨事に対しての即効薬にはならないかもしれませんが、代わりに社会に対する長期的な治療薬となりえるのではないのでしょうか。希望のメッセージを伝達するものや、抑圧に対する団結のためのツールとして機能するもの、チャリティとして経済的な貢献をするもの、傷ついた心を癒すものなど、美術にはさまざまな力があります。このような美術が持つ、負を正に転ずる「ちから」に注目し、その可能性を問いかけます。



池田 学 《誕生》 2013-2016年  
ペン、アクリル・インク、透明水彩、紙、板にマウント  
300×400cm 所蔵：佐賀県立美術館 デジタルアーカイブ：凸版印刷株式会社  
Courtesy: Mizuma Art Gallery, Tokyo / Singapore  
\*11月28日から展示予定



スウーン 《メディア》 2017年  
ミクスト・メディア・インスタレーション  
サイズ可変  
展示風景：「キャニオン：1999-2017」シンシナティ現代美術センター 2017-2018年  
撮影：Tod Seelie



加藤 翼 《The Lighthouses - 11.3 PROJECT》 2011年  
プロジェクトの記録写真  
撮影：宮島 怪 Courtesy: MUJIN-TO Production



ジョルジュ・ルース《アートプロジェクト in 宮城》 2013年  
デジタルプリント、壁紙  
120×160cm

最新のプレス画像は、下記サイトより申請、ダウンロードいただけます。

<https://goo.gl/oVGWHG>

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局（共同ピーアール内）：津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## 屋外展示

### ■ オノ・ヨーコ 《ウィッシュ・ツリー》、《戦争は終わる》

展示室の外でもオノ・ヨーコの2つの作品を紹介します。館内の作品と合わせて、ぜひ鑑賞ください。

#### |-WAVE「TOKYO SOUND EXPERIENCE」× 森美術館「カタストロフと美術のちから展」 《ウィッシュ・ツリー》

1996年から世界各地で展開している参加型の作品。誰もが平和を思い、短冊に願いごとを書いて枝に結びつけることができます。集まった短冊は、展示終了後、アイスランドにある ジョン・レノンとオノ・ヨーコによる世界平和祈願の象徴でもある《イメージン・ピース・タワー》に収められ、永久保存されます。

音楽活動もおこなうオノ・ヨーコの作品でもあることから、2018年10月1日に30周年を迎えた|-WAVEのイベント「TOKYO SOUND EXPERIENCE」とのコラボレーションとして実施します。

**期間**：2018年10月5日(金)～10月8日(月・祝) ※期間限定、特別展示

**時間**：12:00～20:00

**場所**：六本木ヒルズアリーナ

#### 《戦争は終わる》

ベトナム戦争が激化していた1969年に、オノ・ヨーコとジョン・レノンが「WAR IS OVER "IF YOU WANT IT" Merry Christmas from John and Yoko」と描かれたビルボードを、ニューヨークのタイムズスクエアをはじめとした世界11都市で掲示し、その後も世界各地で行われているプロジェクトです。

本展開催に際して、六本木ヒルズ内でこちらの《戦争は終わる》の展示をおこないます。

**期間**：2018年10月5日(金)～2019年1月20日(日)

**場所**：ミュージアムコーン周辺、六本木ヒルズ内各所



(左上) オノ・ヨーコによる《ウィッシュ・ツリー》設置風景 1996/1997年  
展示風景：「En Trance」Lonja del Pescado(スペイン、アリカンテ)1997年  
Courtesy: Generalitat Valenciana 撮影: Miguel Angel Valero

(左下) オノ・ヨーコ 《ウィッシュ・ツリー》 1996/2013年  
展示風景：「Yoko Ono-Half A Wind Show」ルイジアナ近代美術館(スウェーデン、フムレベック)2013年  
撮影: Bjarke Oersted

(右) 《戦争は終わる》展示イメージ

#### プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内)：津原、田ヶ谷、村田

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## 展覧会関連プログラム

### ■ アーティストリレートーク 第1回 ※日英同時通訳付 ※手話同時通訳付

本展のために来日した出展アーティストが、それぞれの制作の背景などを含め、自作について語ります。

**出演:** クリストフ・ドレーガー、アイザック・ジュリアン、ヘルムット・スタラーツ、スウーン

**日時:** 2018年10月7日(日)14:00-17:00 (受付開始: 13:30)

**会場:** 森美術館オーディトリウム

**定員:** 80名(要予約)

**料金:** 無料(ただし、当日有効の本展覧会チケットが必要です)

**お申し込み:** 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

\*手話同時通訳のお申込みは終了いたしました。



クリストフ・ドレーガー



アイザック・ジュリアン  
Photo: Thierry Bal



ヘルムット・スタラーツ  
Photo: Georges Van Krieking



スウーン  
Photo: Chia Messina

### ■ アーティストリレートーク 第2回 ※日本語のみ ※手話同時通訳付

本展出展アーティストが、阪神・淡路大震災、東日本大震災といった未曾有の出来事にどのように向き合い、作品に何を託したのか、その背景を含めて自作について語ります。

**出演:** 堀尾貞治、宮島達男、宮本隆司

**日時:** 2018年11月17日(土)14:00-17:00 (受付開始: 13:30)

**会場:** 森美術館オーディトリウム

**定員:** 80名(要予約)

**料金:** 無料(ただし、当日有効の本展覧会チケットが必要です)

**お申し込み:** 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

\*手話同時通訳のご利用をご希望の方は、イベント名を明記のうえ、2018年11月7日(水)までに [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp) へご連絡ください。



堀尾 貞治



宮島 達男  
撮影: 表 恒匡



宮本 隆司

## 森美術館 × オックスフォード大学

### 国際シンポジウム「カタストロフの時代の美術:アーティストと文化施設の取り組み」

※日英同時通訳付 ※手話同時通訳付

カタストロフ(大惨事)に直面した時、美術はどのような役割を果たせるのか。その可能性を多様なゲストを迎えて考察します。オックスフォード大学のアンソニー・ガードナー氏の基調講演のあと、パネルIでは、出展アーティストや研究者とともに人間の危機的状況における「アートの力」について考えます。パネルIIでは、東日本大震災にフォーカスし、美術館を含む文化施設の動きやその後のアート界における変化について語り合います。

**出演:** アンソニー・ガードナー(オックスフォード大学ラスキン・スクール・オブ・アート所長)、シェバ・チャッチ(アーティスト)、米田知子(アーティスト)、蔵屋美香(東京国立近代美術館企画課長)、高田彩(ビルド・フルーガス代表)、

竹久侑(水戸芸術館現代美術センター主任学芸員)、

エミリア・テラティーノ(オックスフォード大学ラスキン・スクール・オブ・アート博士研究員)、

ジェイソン・ウェイト(オックスフォード大学ラスキン・スクール・オブ・アート博士課程在籍) 他

**モデレーター:** 近藤健一(森美術館キュレーター)

**日時:** 2018年12月15日(土)11:00-17:00(受付開始: 10:30)

**会場:** アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階) **定員:** 150名(要予約) **料金:** 無料

**主催:** ラーニング・プロジェクト実行委員会

**助成:** アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、グレートブリテン・ササカワ財団、モンドリアン財団

**お申し込み:** 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

\*手話同時通訳のご利用をご希望の方は、イベント名を明記のうえ、2018年12月5日(水)までに [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp) へご連絡ください。

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## ■キュレーターによるギャラリートーク ※日本語のみ

本展担当キュレーターが、展示室内でツアー形式のトークを行います。

**出演:** 近藤健一(森美術館 キュレーター)

**日時:** 2018年10月12日(金)19:00-20:00  
2019年 1月 9日(水)19:00-20:00

**会場:** 森美術館展示室内

**定員:** 各回30名

**料金:** 無料(ただし、当日有効の本展覧会チケットが必要です)

**お申し込み:** 不要(当日先着順、展覧会会場入口にお集まりください)

## ■ギャラリートーク ※日本語のみ

美術館スタッフが、展示室内でツアー形式のトークを行います。

**日時:** 2018年11月7日(水)14:00-15:00  
2018年12月5日(水)14:00-15:00

**会場:** 森美術館展示室内

**定員:** 各回15名

**料金:** 無料(ただし、当日有効の本展覧会チケットが必要です)

**お申し込み:** 不要(当日先着順、展覧会会場入口にお集まりください)

## ■おやこでアート ファミリーアワー ※日本語のみ

0歳から6歳のお子さまと一緒に、森美術館へ出かけませんか?開館前の美術館を貸し切り、小さなお子さまと安心して鑑賞いただけます。現在妊娠中のプレママもぜひご参加ください。ご家族との週末の楽しみに、子どもたちとの交流に、子育ての情報交換に、「カタストロフと美術のちから展」を自由にお楽しみください。

**日時:** 2018年10月 7日(日) 9:15-10:30  
2018年11月17日(土) 9:15-10:30

**会場:** 森美術館展示室内

**対象:** 未就学児(0~6歳)とそのご家族、現在妊娠中の方とそのご家族

**定員:** 80組(要予約、先着順) **料金:** 無料(ただし、当日有効の本展覧会チケットが必要です)

**お申し込み:** 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

※ベビーカーや抱っこひもで赤ちゃんと一緒に自由にご鑑賞ください。

※9:35/9:55より、美術館スタッフが展示室内でいくつかの作品をご紹介します。参加をご希望の方は展示室入口にお集まりください。

※10:00より一般のお客様も入館します。ご了承ください。

## ■学校と美術館のためのプログラム ※日本語のみ

展覧会の紹介とともに、現代アートと子どもたちの学びについて先生と美術館スタッフがディスカッションします。図工や美術のみならず、美術館の活用にご関心を寄せていただいている、他教科の先生もぜひご参加ください。

**日時:** 2018年10月12日(金)19:00-21:00(19:00-20:00 キュレーターによるギャラリートーク/20:00-21:00 ディスカッション)

**会場:** 森美術館 **定員:** 10名(要予約) **料金:** 無料

**お申し込み:** 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

---

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## ■ とびだす学校ツアー ※日本語のみ

作品鑑賞を子どもたちや学生たちの学びに取り入れてみませんか?授業などの一環として展覧会をご覧いただくツアーです。希望日の4週間前までに下記へお問い合わせください。事前に先生とご相談のうえ、日程や内容を決定します。

**対象:** 保育園、幼稚園、小・中学校・高校、大学、専門学校

**人数:** 1回50名まで(ギャラリートークの場合) ※それ以上の人数はガイダンスやレクチャー形式などでご相談に応じます。

**料金:** 幼稚園、保育園、小学校、中学校:プログラム費無料、入館料無料

高等学校:プログラム費無料、入館料1人500円

大学、専門学校:プログラム費無料、入館料1人1,000円 ※引率者はいずれも無料

**お申込み:** 参加をご希望の場合は、電話・FAXまたはメールにて、森美術館ラーニング担当宛に下記項目をお知らせください。

・学校名、学年、人数、ご連絡先

・ご希望の来館日時(複数の候補をお知らせください)

※出演者は予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。 ※上記のほか、耳でみるアート、手話ツアーなどを予定しています。

※最新情報、お申し込みは、森美術館ウェブサイトへ: [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

**プログラムに関するお問い合わせ:** 森美術館 ラーニング担当

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 e-mail: [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp)

## 関連情報

### ■ 展覧会カタログ

**執筆者:**

グリット・ヤスパー・シェンク(ダルムシュタット工科大学教授)、J.J. チャールズワース(美術批評家)、

星野 太(哲学、金沢美術工芸大学)、近藤健一(森美術館 キュレーター)

**サイズ:** A4変型(28.2×21 cm) **頁数:** 192頁(予定)

**言語:** 日英バイリンガル **価格:** 未定 **発売日:** 2018年11月中旬(予定) **制作・発行:** 森美術館/平凡社

### ■ 展覧会オリジナルグッズ

展覧会ロゴがデザインされたツールボックスや軍手など、展覧会オリジナルグッズをご用意しています。

また、実際に使用し終えた消防服を再利用しデザインした1点もののバッグなども販売します。火災現場や被災現場で染みついた煤の汚れやダメージをダイレクトに使用し、消防士の戦いの軌跡が感じられます。



MODECO「Fireman」  
トートバッグ(価格未定)

**お問い合わせ:** 森美術館ミュージアムショップ

Tel: 03-6406-6118 営業時間: 10:00-22:00(祝日を除く火曜日は17:00まで) ※美術館の開館時間に準ずる

### ■ 音声ガイド

**ガイド件数:** 全15件 **解説時間:** 約25分 **料金:** 500円(税込)

**企画・制作:** アコースティガイド・ジャパン **監修:** 森美術館

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## 出展アーティスト関連情報

### あなたがつくる“時”が東北の未来になる! 宮島達男《時の海-東北》第2期 サポート・アーティスト募集のお知らせ

宮島達男による本展出品作、《時の海-東北(2018東京)》は、東日本大震災で亡くなられた方々への鎮魂と、未曾有の大災害の記憶を後世に伝え残すため、また、未来への希望に繋げていくために制作された作品で、2017年の「Reborn-Art Festival 2017」(宮城県石巻市)からスタートした、10年がかりの壮大なプロジェクトです。

この度、プロジェクト第2弾となる本展での展示に際し、このプロジェクトに賛同して下さる方を、「サポート・アーティスト」として広く募集しています。ぜひご参加ください。

詳細・お申込み: <https://motion-gallery.net/projects/seaoftime2018>



宮島達男  
《時の海-東北(2017石巻)》  
2017年  
防水LED、電線、集積回路、水  
910×1,270 cm 作家蔵  
展示風景:「リボーンアート・フェスティバル」(宮城)2017年

### アイ・ウェイウェイ監督作品『ヒューマン・フロー 大地漂流』 2019年1月にシアター・イメージフォーラム他にてロードショー

2017年ベネチア国際映画祭5部門授賞を果たした、アイ・ウェイウェイ監督作『ヒューマン・フロー 大地漂流』が、2019年1月に日本で公開されます。

社会運動家としても精力的に活動するアイ・ウェイウェイが、自らギリシャのレスボス島を中心に、23カ国を超える40箇所もの難民キャンプを訪れ、インタビューを敢行し、世界問題となっている難民危機の現状を追いかけます。本展出品作《オデッセイ》で描かれた光景がそのまま映画にも登場します。

展覧会と映画の両方を見ることで、より深く彼のメッセージを受け取ることができるこの機会をお見逃しなく。

詳細: [www.humanflow-movie.jp](http://www.humanflow-movie.jp)



2017年/ドイツ/ビスタサイズ/5.1ch/140分  
配給:キノフィルムズ/木下グループ  
© 2017 Human Flow UG. All Rights Reserved.

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

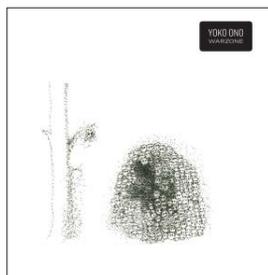
## オノ・ヨーコ 新アルバム『ウォーゾーン』の他、 『イマジン』関連の書籍やアルバム、映像作品など発売

生誕85周年を迎えたオノ・ヨーコ。2018年10月24日に、新アルバム『ウォーゾーン』の日本盤がボーナストラック付きで発売されます。新作の収録曲は1970年から2009年までのオノ・ヨーコの作品の中から彼女自身が13曲選び、新たな解釈で新たにレコーディングされたもの。また、2018年10月9日のジョン・レノンの78回目の誕生日に合わせて、10月5日には『イマジン：アルティメイト・コレクション』、10月9日には書籍『イマジン ジョン&ヨーコ』が全世界同時発売されるなど、『イマジン』関連の作品が数多く発表されます。

時代が変わっても変わらない、オノ・ヨーコとジョン・レノンによる平和へのメッセージは、2018年の今の方がより一層人々の苦境に寄り添い、適切さを増していることでしょう。



Photo by Iain Macmillan  
© Yoko Ono



### ヨーコ・オノ新アルバム『ウォーゾーン』

**発売**：2018年10月24日(水) **価格**：2,700円(税込)  
**発売元**：ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル  
**詳細**：<http://www.sonymusic.co.jp/yokoono/>



### ジョン・レノン『イマジン：アルティメイト・コレクション』4CD+2ブルーレイ(音源のみ)

**発売**：2018年10月5日(金)  
**価格**：スーパー・デラックス・エディション12,960円(税込)他、各種販売  
**発売元**：ユニバーサル ミュージック合同会社  
**詳細**：<https://www.universal-music.co.jp/john-lennon/>



### 書籍『イマジン ジョン&ヨーコ』

**発売**：2018年10月9日(火) **価格**：6,264円(税込)  
**発売元**：ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス  
**詳細**：<http://www.ymm.co.jp/feature2/johnandyoko/index.html>

※これらの商品は、森美術館ミュージアムショップでもお取り扱いがございます。

### 共通ハッシュタグ: #Imagine\_ArtMusic

森美術館で展示されるオノ・ヨーコの作品や、新アルバム『ウォーゾーン』、ジョン・レノン『イマジン』に関するCD・ブルーレイ・書籍などをSNSで投稿する際に、ぜひこちらのハッシュタグをご使用ください。

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田  
 Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp  
 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル